



絵・さすらいの妖怪「フニャン」 野上そらくん（8歳）

建設ニュース

看護小規模多機能さんしょう等複合施設の新築建物の建設は5月末で65%が完成しています。屋上の防水がされ、6月からはソーラパネルの工事が始まります。エレベータの設置も完了し、部屋の間仕切りが出来てきました。近隣の住民代表、行政、医療機関、地域包括支援センターなどから参加していただく看多機運営推進会議のメンバーが決まるなど、具体的な運営についても決まってきています。

建物は7月31日に完成予定です。一般の方の内覧会を8月30日に予定しています。皆さん是非、見学にいらしてください。



.....薬剤師・看護師・介護職員、募集しています.....

〜〜〜新しいスタッフ紹介〜〜〜



幸樹会のさわやかイケメン！ 岡本健吾

はじめまして！このたび縁あって、幸樹会の一員として働かせていただくことになりました。自分自身、松戸で育っておりますので、地元（松戸市）で働けることに喜びを感じております。

今までの経験を生かしつつ、地域に根ざした運営の一翼を担い、地域の皆様から信頼され、なんでも託してもらえるような存在になれるよう、頑張っておりますので、よろしくお願いいたします。

いつかは“松戸に幸樹会あり”と言われるよう頑張ります！

（ケアマネジャー・福祉用具専門員 岡本健吾）

にじみ出る優しさと丁寧さ！ 山川靖子

初めまして。今年の3月に、鳥取県から松戸市へ引っ越してまいりました。施設ケアマネを含め、約18年間、介護現場で多くを学ばせて頂きました。また短期間ですが、障害者就労支援にも従事させていただき、改めて福祉事業の大切さを実感いたしました。地域の皆様に信頼されるケアマネをめざし、笑顔をもっとに頑張りますのでよろしくお願いいたします。

（ケアマネジャー 山川 靖子）



料理とピアノが天才的！ 浅尾いずみ

はじめまして！「離れて住む自分の親をお世話する気持ちで…」と今までは訪問介護の現場で働いていました。

ご縁があり、幸樹会の仲間入りをさせていただきましたが、少しでも明るく、楽しく皆様のお手伝いをさせていただきたいと思います。

（ヘルパー 浅尾 いずみ）



実直な勉強家！ 加藤義幸

ケアステーションゆずに三月より入職いたしました。体を動かすことが好きで、幸樹会を通じてマラソン大会やあんず畑作りなど地域の皆様と積極的に交流していきたいと思っております。6月の地域カフェでは栄養士の知識を活用し、介護食のアレンジなどを御紹介できるように準備させていただいています。これから幸樹会の一員としてがんばってまいりますのでよろしくお願い致します。

（ヘルパー・栄養士 加藤 義幸）



ガッツ溢れる大志を秘めた看護師！ 高橋花世

5月9日より、あんず訪問看護ステーションに入職しました。急性期と回復期を経験し訪問看護に来ました。長崎で1年、横浜で1年で、訪問看護の経験はまだまだですが、利用者の方に寄り添った看護ができるように努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

（看護師 高橋 花世）



まだまだ一緒に働く仲間を募集しています！新しい事業と一緒に作り上げていきましょう！！

若い、人見知りのさみしがり屋で家族思い！ 小田島幸代

入職してからまだ2ヶ月で、全く知らない事ばかりで毎日緊張しながら働いています。でも、ここまでやってこれたのは、周りの方々に色々と教わりながら支えてもらってきたからです。勉強は苦手ですが、これからもっと色々と勉強をして頑張りたいと思います。（事務 小田島幸代）



次回 6月21日 第3回 地域交流カフェ のお知らせ テーマ「食について」

内容

- ① 介護食品簡単アレンジ
ワンポイントアドバイス
- ② 介護用食器体験
- ③ ベッドで食事介助体験
- ④ 味見してみよう栄養補助食品
- ⑤ 備えよう災害時の食事

今回も、福祉用具専門員と栄養士、ヘルパー、ケアマネ、看護師と一緒に、さまざまな角度から食について考えるという企画にしました。

どなたでも参加自由です！お待ちしております！

6月21日（火）午後2時から4時
場所：八柱市民センター2階会議室
*エレベーターはありません。

*申し込みは、電話またはFAXをお願いします。

TEL 047-701-7550

FAX 047-701-7676

事例検討会を行いました！

4月27日、幸樹会ではじめての在宅（看護介護）部門の事例検討会を行いました。

今年1月にケアマネジメントを行う居宅介護支援事業所、3月に訪問介護の事業所を開設し、幸樹会も在宅サービスの仲間が増えました。

訪問看護、介護ショップに加え、幸樹会の在宅サービスが共通して関わる利用者さんも増えてきた

ところで、更なる質の向上、スキルアップを目指し、事例検討会を開催しようということになりました。

第1回目の今回は、まずは全ての事業所が関わっているAさん・Bさんの2事例を、各事業所の関わりの経緯をまとめ、その上で良かったこと、問題点を発表する形で検討会をすすめました。

Aさんについては、病院から自宅に戻る時点から、病院の退院前カンファレンスにケアマネジャー・訪問看護師が関わってきました。その後訪問診療を担当する医師との連携も含め、病状、状態を看護・介護で共通の認識にして、目標に向かってそれぞれの職種が連携していくことで、早期に皮膚トラブル改善できました。同じ事務所で情報交換が密にできていることのメリットを実感できた事例でした。

Bさんは、入院前とは全く違う介護状況になって自宅に退院してきて、本人・家族も戸惑っていました。そこで、ヘルパーが早朝から複数回、生活状況に合わせて支援に入るなど臨機応変に対応してきました。その結果、本人・家族も安心して療養できる在宅環境が整えられていきました。状況に合わせて臨機応変に対応できたことは、同じ事務所でタイムリーに支援内容の確認をしながらケアプランの変更もできる私たちの強みであることを確認しました。

一方で、看護が直接病院や訪問診療と情報収集することの必要性や、朝会で情報交換や問題提起をしていこうなど、同じ事務所にいるのに、情報共有が不十分になってしまったことなどの反省点などもあげられました。

また、ヘルパー、看護師、ケアマネジャーと入る職種によって、本人・家族が見せてくれる「顔」は様々である事が確認できました。多方面から、その

人・家族を知ること、問題が出てきた時、その瞬間を逃さず対処できること、それが具体的な目標検討と早期解決につながります。そして共感や喜びを多職種で実感できる利点があります。

今回の事例検討会を通して知り得たことを、サービスの質の向上に結び付けるために、今後とも月1回の症例検討会を続けていきます。

(あんず訪問看護ステーション所長 大塚かすみ)



あんず畑報告

今年もあんず畑に吉岡さんの指導のもと、枝豆とさつまいもを植えました！新しいスタッフの初仕事は、あんず畑を耕して、肥料をまき、夏野菜の準備をすることでした(^▽^)/ 太陽サンサンの中、汗を流してくれました！！先日私たちが、冬野菜の片付けに小さななかまで苦戦していたとき、近所の方が見るに見かねて、剪定ばさみやくわをもって「これでやりな〜」と声かけてくださいました。地域で仕事をして、地域で育ててもらって根付いていくということとはこういうことなのかな〜と実感しました。今年度もあんず畑で素敵な思い出と出会いが生まれますように。

今年もあんず畑のイベント楽しみにしててくださいね☆



ました」など。この勉強会は、一緒に地域の方々と福祉について考える貴重な時間となってきました！

どなたでも参加自由です。お待ちしております。

●次回学習会予定

日時：6月17日（金）18：30～19：30

テーマ：ノーマライゼーション・エンパワメント・ICF…③

「目標志向的アプローチ」「エンパワメント」

*場所：エコトピア六番館 201号 *参加自由

ケアステーションゆずブログ開設！

<http://ameblo.jp/yuzu-kouzyukai/>

*「ケアステーションゆず ブログ」で検索できます

●幸樹会ホームページ

<http://www.kouju-kai.or.jp/>

●からたち薬局

<http://ameblo.jp/karatachi-p/>

*「からたち薬局 ブログ」で検索できます

●あんず訪問看護ステーション <http://ameblo.jp/anzu-kouju-kai/>

*「あんず訪問看護ステーション ブログ」で検索できます

一緒ににはたきませんか！？

薬剤師・看護師・介護職員・ケアマネジャーの方々、お待ちしております☆

連絡先 一般社団法人幸樹会本部 中野三代子

住所：千葉県松戸市河原塚 411-1-102

TEL：047-701-7550

E-mail：miyoko-nakano@kouju-kai.or.jp

定期勉強会

●前回報告 5月20日（金）実施

テーマ「ノーマライゼーション・エンパワメント・ICF…②」講師 武井幸穂氏

【参加者感想】今回は、近くにお住まいの方々が3名も参加してくださいました！

一見難しそうな「生きることの全体像」についての「共通言語」というICFの考え方やICF整理モデルなどについて積極的に発言してくださいました。

「息子に当てはめて考えてみることもできるかも…

やってみます！」「親を介護していたときのことを思い出していろいろ考えさせられ、胸が一杯になり

編集後記

様々な職種が同じ事務所にいることで、それぞれの職種があらゆる角度から日々利用者さんの在宅療養環境について話し合い・検討を行っています。この積み重ねが互いの専門性を理解し、さらにそれを互いに伸ばし、よりよいケアにつながっていくと思っています。スタッフみんなが、臆せず楽しみながらいろんな意見が交わる環境を作っていけたらと思います。（奥村万里子）